

項目	概要	事業/財務インパ		対応策（青字：推進中、黒字：推進予定）	
		1.5°C	4.0°C		
リスク	炭素価格	●各国の炭素税および排出量取引や、国境炭素調整の導入による製造コスト増			<ul style="list-style-type: none"> ●Scope 1&2削減目標達成策の精緻化と推進 ●Scope 3削減目標達成策の精緻化と推進
	原材料コスト	<ul style="list-style-type: none"> ●排出規制や電化推進に伴う希少資源等の需要増による原材料コスト増 ●循環型材料採用によるコスト増 ●森林資源の枯渇によるコスト増 			<ul style="list-style-type: none"> ●サプライヤとの協働によるCSR調達体制の確立 ●持続可能な森林資源の調達拡大 ●商品リサイクルの拡大
	エネルギーコスト	<ul style="list-style-type: none"> ●再エネ調達および省エネ対応によるコスト増 ●気温上昇に伴う空調コスト増 			<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光など自家発電設備の導入拡大 ●製造工程における省エネルギーの推進 ●再生可能エネルギーへの切替促進
	物理的リスク対応費	<ul style="list-style-type: none"> ●異常気象や自然災害の影響による設備の復旧コスト増 ●渇水による水のコスト増 			<ul style="list-style-type: none"> ●サプライチェーンにおけるBCP対応力の強化
機会	環境配慮型商品の開発	●排出規制やエネルギー効率基準等の強化に伴う環境配慮型商品の需要増			<ul style="list-style-type: none"> ●原材料や部材を削減した商品の開発・拡販 ●環境負荷の低い原材料や部材を使用した商品の開発・拡販
	環境配慮型ソリューションの開発	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネ政策や気温上昇に伴う、工場・設備の生産性・省エネ性能を高めるソリューションの需要増 ●リサイクル規制や消費者の行動変容による、各製品の原材料やGHG排出量の可視化ソリューションの需要増 			<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物削減を支援するソリューションの開発・拡販 ●GHG排出削減を支援するソリューションの開発・拡販 ●資源循環を支援するソリューションの開発・拡販
	データ活用需要	●AIやビックデータ活用ニーズの高まりによる、現場データの需要増			●タギング技術の高度化によるデータ収集・活用ビジネスの拡大
	サービス需要	●災害時の保守サービスや災害レジリエンス強化のサービスの需要増			●保守サービス高度化によるお客さまの円滑運用の支援拡充



：サトーグループの事業および財務への影響が大きいと想定される（リスクはマイナス、機会はプラス）



：サトーグループの事業および財務への影響が中程度と想定される（リスクはマイナス、機会はプラス）



：サトーグループの事業および財務への影響が小さいと想定される（リスクはマイナス、機会はプラス）